

人は心こめて道具をつくり
それを大切に扱ってきた。
ひとつひとつ丁寧に
漉き、織り、塗り、磨き、削り、
人にやさしい物となった。

春、夏、秋、冬の巡りを
うけいれ、喜び、
季節に似合った物をつくり出し
いつくしんできた。

つくり手と時代の温もりが
伝わってくる道具が
四季の中で
和のしつらいとなり、伝統となり
私達に語りかけてくる。



